

## 前々回定例会（平成19年7月4日）以降の行政の動き

平成19年9月5日  
新潟県

### 1 安全協定に基づく状況確認（地震関連以外）

○7月10日 月例状況確認 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・1～7号機運転保守状況等について（6月分）
- ・工事計画概要について（平成19年度第1四半期）
- ・不適合管理状況について（5、6月分）

○8月8日 月例状況確認 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・1～7号機運転保守状況等について（7月分）
- ・使用済燃料保管状況（平成19年度第1四半期）
- ・放射性廃棄物管理状況（平成19年度第1四半期）
- ・放射線業務従事者の線量管理状況（平成19年度第1四半期）

### 2 新潟県中越沖地震関連の県の対応

#### (1) 報道発表・ホームページ掲載の状況

○放射能関係（ゴシック：資料として添付）

7月16日 柏崎刈羽原子力発電所の状況について（12時現在）

柏崎刈羽原子力発電所の状況について（13時現在）

7月18日 海水の放射性物質測定結果（第1報）

空気中の放射性ヨウ素測定結果 ※以降7月30日まで毎日2回発表

7月21日 農林水産物の放射能測定結果（第1報）

立入調査結果（今回の放射性物質の放出による健康への影響はない）

7月26日 海水浴場の海水の放射性物質測定結果

農林水産物の放射能測定結果（第2報）

7月27日 海水の放射性物質測定結果（第2報）

水産物の放射能測定結果（第3報）

8月1日 海水の放射性物質測定結果（第3報）

8月10日 農林水産物の放射能測定結果（第4報）

8月20日 農林水産物の放射能測定結果（第5報）

8月30日 海水の放射性物質測定結果（第4報）

8月31日 農林水産物の放射能測定結果（第6報）

○その他

7月18日 東京電力に柏崎刈羽原子力発電所の安全確保を申入れ（17日実施）

7月20日 立入調査（21日実施）について

7月22日 IAEAの調査受け入れについて国に要請

7月27日 立入調査（8月1、2日実施）について

7月28日 立入調査（28日実施）について

7月31日 調査・対策委員会における危機管理監発言内容

8月6日 IAEAによる調査着手に関する知事コメント

## (2) 地域への広報

チラシを作成し、新聞折り込み等で柏崎市、刈羽村を中心に配布

- 7月22日 放射線監視情報(第1号)
- 7月25日 放射線監視情報(第2号)
- 7月28日 放射線監視情報(第3号)
- 8月11日 放射線監視情報(第4号)

## (3) 安全協定に基づく状況確認（前回報告分以外）

- 8月21日 状況確認 県、柏崎市、刈羽村
  - <主な確認内容>
    - ・1号機炉内点検状況

## (4) 原子力発電所周辺環境監視評価会議

- 8月28日 臨時会を開催
  - <議題>
    - ・新潟県中越沖地震に係る環境影響評価（案）について
    - ・今後の調査方針（案）について
  - <審議内容>
    - ・県及び東京電力が実施した環境放射線監視調査結果に基づいた「環境影響評価」及び「今後の調査方針」を承認。
  - <評価>
    - ・これまでの調査結果からは、新潟県中越沖地震に係る発電所からの周辺環境への影響及び放射性物質の放出・漏えいによる住民への健康に対する影響はなかったものと判断した。

## 新潟県の初動対応（柏崎刈羽原子力発電所関係）

日 時	通報の流れ	概 要
7/16 10:13		地震発生（柏崎市、刈羽村 震度6強観測）
10:20		原子力安全対策課職員登庁。（その後、職員は順次登庁） その後、東電にプラント状況等をホットライン（緊急対策室）、固定電話で確認するが繋がらず。
10:30	県 → 東電	東電当直の携帯電話へプラント状況を確認「3, 4, 7号機スクラム」
10:34	監視センター → 県	県柏崎刈羽放射線監視センターからモニタリング（MP）状況報告「現在のところMPで異常値は観測されていない。」
10:35	東電 → 県	東電当直から携帯電話でプラント状況通報「1, 5, 6号機は停止中。原子炉起動中の2号機、運転中の3, 4, 7号機はスクラム停止」
10:43	原安課 → 知事他	知事、副知事、危機管理監、局長等にプラント状況をメールで報告。
10:45	県 → 保安院	原子力安全・保安院（以下「保安院」）（原子力防災課）へFAXで報告「全号機停止中。県のMPで異常値は出ていない」（※緊急時連絡網電話では出なかったためFAXで報告）
10:45	東電 → 県	東電担当者から携帯電話で火災情報通報 「3号機所内変圧器で火災発生。初期消火中。柏崎消防へ連絡済。」
10:47	刈羽村 → 県	原子力発電所の状況について村から照会 「全号機停止中。県のMPで異常値は出ていない」旨を回答
11:00	県 → 保安院	保安院（原子力防災課）へFAXで報告 「3号機所内変圧器で火災発生。初期消火中。柏崎消防へ連絡済。」 （※緊急時連絡網電話では出なかったためFAXで報告）
11:05	知事 → 原安課	知事から、「保安院に住民避難の必要性の有無を確認をする」旨の指示。
11:10	県 → 検査 官事務所	保安検査官事務所に携帯電話で住民避難の必要性を確認。所長は発電所へ移動中。「本院に直接聴いた方がいい」
11:11	監視センター → 県	柏崎監視センターから報告「東電のMPの伝送がない。東電が確認中。県のMPは異常値はない。」
11:15	県 → 保安院	保安院（原子力防災課）室長の携帯電話に「保安院から住民避難の必要性を判断して欲しい」と要請。 （※固定電話では繋がらなかったため携帯電話で電話）
11:30	東電 → 県	東電担当者からMPの状況通報「東電MPは正常に観測しているが、電送系の電源がダウン。異常値は出ていない。」
11:32	保安院 → 県	保安院（原子力防災課）から連絡「東電のMPデータでは異常がない。院長と相談のうえ、柏崎周辺の住民避難の必要性はないと判断した。」
11:36	東電 → 県	東電担当者から火災情報通報「3号機所内変圧器の火災で消防車が来て消火作業中。他への引火の危険性はない。」
11:58	東電 → 県	FAXによる通報（第1報）「地震により運転中の3, 4, 7号機及び起動中の2号機が自動停止した。11時30分現在、軽傷者4名。3号機所内変圧器から火災発生。消防により消火活動中。外部への放射能漏れはない。」（※その後、東電からはFAXにより通報されている。）
12:15	県	プレス発表「3号機所内変圧器の火災は消防により12時現在鎮圧。県のMPでは12時現在、異常は確認されていない。県は発電所周辺の住民の避難等の必要性はないと判断している。」（市、村等へも通報）
12:27	東電 → 県	東電担当者から火災情報通報「3号機所内変圧器の火災は12時10分、消防により鎮火が確認された。」
13:10	県	プレス発表「3号機所内変圧器の火災は消防により12時10分に鎮火を確認した。県のMPでは13時現在、異常は確認されていない。」

柏崎刈羽原子力発電所の状況について（12時現在）

- ・ 東京電力によれば、3号機の屋外に設置してある所内電源用変圧器で火災発生したが消防により12時現在で鎮圧を確認
- ・ 県が実施している発電所周辺環境放射線モニタリングでは、12時現在、異常は確認されていない。
- ・ 県は発電所周辺住民の避難等の必要はないと判断しています。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課 松岡、藤田

直通 025-280-5256 内線2830

柏崎刈羽原子力発電所の状況について（13時現在）

- ・ 東京電力によれば、3号機の屋外に設置してある所内電源用変圧器で火災が発生しましたが、消防の消火活動により12時10分に鎮火を確認
- ・ 県が実施している発電所周辺環境放射線モニタリングでは、13時現在、異常は確認されていない。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課 松岡、藤田

直通 025-280-5256 内線2830

平成19年7月18日

午後5時

防災局原子力安全対策課

柏崎刈羽原子力発電所6号機で放射性物質の漏えいがありましたが、  
海水から人工放射性物質は検出されませんでした。

7月16日の中越沖地震の発生に伴い柏崎刈羽原子力発電所6号機で人工放射性物質の漏えいがあったことから、県では7月17日に発電所放水口及び前面海域で海水を採取して放射性物質を測定しました。

測定結果は、別紙のとおり全ての地点で発電所由来の人工放射性物質は検出されませんでした。

※ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の9カ所の放射線は、県のホームページ・防災情報においてリアルタイムで見ることができます。

県ホームページアドレス <http://www.pref.niigata.jp/>

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全対策課 松岡課長  
025-280-5256 (直通)  
025-285-5511 (内線2830)

## 海水の放射能測定結果について

防災局原子力安全対策課  
平成19年7月18日

- 1 採取日時 7月17日午後2時～午後4時
- 2 検査方法 6号機放水口及び発電所前面海域5ヶ所で海水を採取し、県放射線監視センターで放射能分析装置を用いて測定しました。
- 3 測定結果

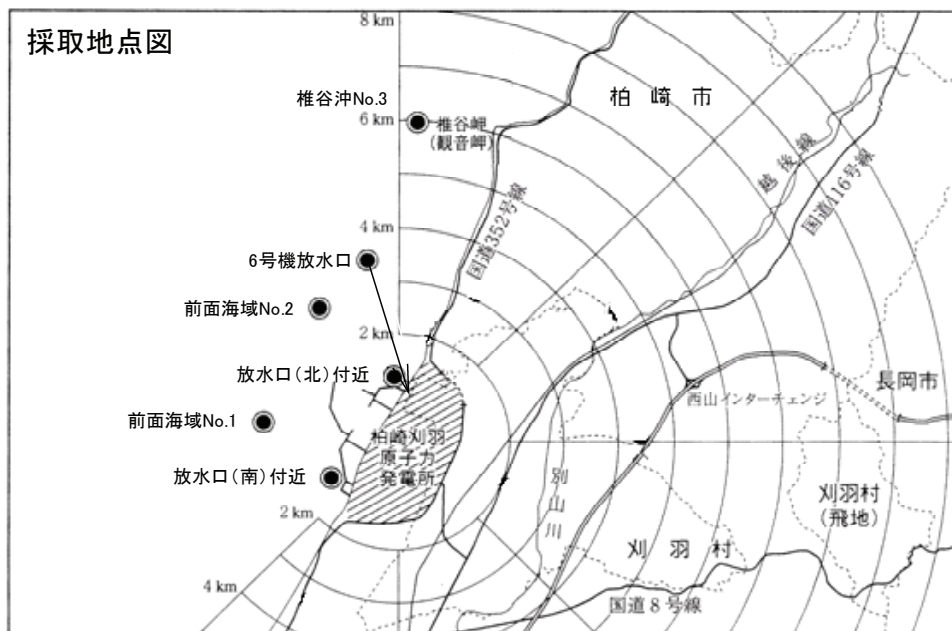
区分	採取場所	人工放射性物質(単位:Bq/l)	備考
放水口	6号機放水口	検出されず	
前面海域	前面海域No.1	検出されず	
	前面海域No.2	検出されず	
	椎谷沖No.3	検出されず	
	放水口(北)付近	検出されず	
	放水口(南)付近	検出されず	

※ 原子力発電所由来の人工放射性物質としては、主にヨウ素(I)-131等の核分裂生成物とコバルト(Co)-60等の放射化生成物があります。

検出下限値は、ヨウ素-131、コバルト-60で約0.15Bq/l

### 【測定値の単位について】

- ・ Bq (ベクレル) とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子が崩壊し、放射線を放出します。



平成19年7月18日  
午後6時  
防災局原子力安全対策課

発電所周辺の空気から放射性ヨウ素は検出されませんでした。

7月16日の中越沖地震の発生に伴い柏崎刈羽原子力発電所7号機排気筒から放射性ヨウ素等の放出があったことから、県では7月17日から発電所周辺の自動観測局で放射性ヨウ素の測定を開始しました。

測定結果は、以下のとおり全ての地点で放射性ヨウ素は検出されませんでした。

放射性ヨウ素（測定期間（7月17日午後6時～7月18日午後6時、1時間毎の平均））

測定場所	放射性ヨウ素（単位：Bq/m <sup>3</sup> ）	備考
柏崎市街局（柏崎保健所構内）	検出されず	
刈羽局（ラピカ付近）	検出されず	
西山局（柏崎市西山町事務所構内）	検出されず	

※ 検出下限値は、2 B q / m<sup>3</sup>です。

【測定値の単位について】

- ・ B q（ベクレル）とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子が崩壊し、放射線を放出します。

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全対策課 松岡課長  
025-280-5256（直通）  
025-285-5511（内線2830）





平成 19 年 7 月 30 日  
午後 4 時  
防災局原子力安全対策課

### 発電所周辺の空気から放射性ヨウ素は検出されませんでした。(第25報)

#### ○ 空气中放射性ヨウ素

発電所周辺においては、7月17日から7月30日正午まで全ての地点の空気から放射性ヨウ素は検出されていません。

#### 放射性ヨウ素（測定期間（7月17日午後6時～7月30日正午、6時間毎の平均））

測定場所	放射性ヨウ素（単位：Bq/m <sup>3</sup> ）	備考
柏崎市街局（柏崎保健所構内）	検出されず	
刈羽局（ラピカ付近）	検出されず	
西山局（柏崎市西山町事務所構内）	検出されず	

※ 検出下限値は、0.3 B q / m<sup>3</sup>です。

#### （お知らせ）

本日で、定時（毎日午前10時、午後4時）の公表は終了します。

測定は継続しておりますので、今後は放射性ヨウ素が検出された場合に速やかに公表します。

#### 【測定値の単位について】

- ・ B q（ベクレル）とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子が崩壊し、放射線を放出します。

#### （参考）空間放射線

柏崎刈羽原子力発電所周辺の自動観測局で行っている空間線量率の連続測定においても、全ての地点で異常な数値は見られません。

なお、柏崎刈羽原子力発電所周辺の放射線は、県のホームページ・防災情報においてリアルタイムで見ることができます。

県ホームページアドレス

<http://www.pref.niigata.jp/>

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全対策課 松岡課長  
025-280-5256（直通）  
025-285-5511（内線2830）

発電所周辺における農林水産物から放射性物質は検出されませんでした。

7月16日の中越沖地震の発生に伴い、柏崎刈羽原子力発電所から人工放射性物質の漏えいがあったことから、県では県産農林水産物の安全性を確認するため、周辺区域の農林水産物中の放射能測定を以下のとおり実施しました。

測定結果は以下のとおりで、全ての品目で放射性物質は検出されませんでした。

### 1 採取日

平成19年7月17日～20日

### 2 調査方法

柏崎刈羽原子力発電所から農産物については概ね半径10km以内、水産物については20km以内（ブリは沖合）で生産・採取されている農林水産物を県放射線監視センター、同柏崎刈羽放射線監視センター及び(財)日本分析センターで測定した。

### 3 測定結果

種 別	品 目	点数	放射性物質
水産物	ブリ	1	検出されず
	マダイ	1	検出されず
	アジ	1	検出されず
	イシモチ	1	検出されず
	マガレイ	1	検出されず
	サザエ	1	検出されず
農産物	稲	3	検出されず
	えだまめ	1	検出されず
	もも	1	検出されず
	ねぎ	1	検出されず
	さといも	1	検出されず
	たもぎたけ	1	検出されず
畜産物	生乳	1	検出されず
		15	

#### 本件についてのお問い合わせ先

農産園芸課課長	岡村	(直通)025-280-5294 (内線)2920
食品・流通課課長補佐	村山	(直通)025-280-5814 (内線)2941
畜産課課長	阿部	(直通)025-280-5307 (内線)2960
水産課課長	大塚	(直通)025-280-5310 (内線)2980
林政課課長	加茂田	(直通)025-280-5319 (内線)3010

環境試料の臨時調査結果について

放射線監視センター

平成19年7月20日に柏崎刈羽地域において、表1に示す環境試料を採取し、Ge半導体検出器より測定をしたところ、人工放射性核種は検出されなかった。

なお、参考のため表2に検出下限値を示す。

表1 測定結果

\*は検出下限値未満を表す

試料名	採取地点	供試料量 (単位:kg)	放射能							単位
			コバルト -58	コバルト -60	クロム -51	ヨウ素 -131	ヨウ素 -133	ヨウ素 -135	アンチモン -124	
稲-1	柏崎市 田塚	0.43kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
稲-2	柏崎市 大塚	0.48kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
稲-3	柏崎市 二田	0.57kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
エダマメ	刈羽村 十日市	1.58kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
桃	刈羽村 正明寺	1.78kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
ネギ	柏崎市 春日	1.00kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
サトイモ	刈羽村 新屋敷	1.95kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
キノコ	柏崎市 市野新田	0.48kg	*	*	*	*	*	*	*	Bq/kg生
牛乳	柏崎市 西長島	2.00L	*	*	*	*	*	*	*	Bq/L

値は全て平成19年7月20日12:00に減衰補正した。

表2 検出下限値

試料名	供試料量 (単位:kg)	放射能							単位
		コバルト -58	コバルト -60	クロム -51	ヨウ素 -131	ヨウ素 -133	ヨウ素 -135	アンチモン -124	
稲-1	0.43kg	0.45	0.57	4.3	0.47	0.49	3.5	0.89	Bq/kg生
稲-2	0.48kg	0.48	0.54	4.5	0.54	0.53	3.7	0.89	Bq/kg生
稲-3	0.57kg	0.34	0.45	3.1	0.38	0.70	14	0.69	Bq/kg生
エダマメ	1.58kg	0.17	0.20	1.6	0.18	0.27	4.5	0.29	Bq/kg生
桃	1.78kg	0.10	0.14	1.2	0.13	0.16	1.4	0.22	Bq/kg生
ネギ	1.00kg	0.22	0.26	2.1	0.25	0.33	3.3	0.44	Bq/kg生
サトイモ	1.95kg	0.11	0.15	0.98	0.12	0.16	1.6	0.21	Bq/kg生
キノコ	0.48kg	0.39	0.45	4.1	0.49	0.44	2.3	0.78	Bq/kg生
牛乳	2.00L	0.12	0.15	1.2	0.14	0.13	0.73	0.25	Bq/L

値は全て平成19年7月20日12:00に減衰補正した。

# 環境試料中の放射能測定について（新潟県からの依頼）

平成19年7月20日  
財団法人 日本分析センター

## 測定結果

試料名	供試量 (kg)	線スペクトロメトリー							単位	
		Cr-51	Co-58	Co-60	Sb-124	I-131	I-133	I-135		
マダイ	1.8	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生
アジ	2.0	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生
イシモチ	2.1	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生
マガレイ	2.3	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生
ブリ	2.3	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生
サザエ	1.9	**	**	**	**	**	**	**	**	Bq/kg生

\*1 検出下限値は、Cr-51で約1.3Bq/kg生、Co-58で約0.21Bq/kg生、Co-60で約0.22Bq/kg生、Sb-124で約0.35Bq/kg生、I-131で約0.18Bq/kg生、I-133で約0.43Bq/kg生、I-135で約16Bq/kg生です。

\*2 分析結果は、計数値がその計数誤差の3倍を超えるものについては有効数字2桁で表し、それ以下のものについては\*\*で示しています。

**立入調査の結果、今回の放射性物質の放出量は極く微量で全く問題なく、健康への影響もないとの結論に達しました。**

本日、新潟県、柏崎市、刈羽村は、柏崎刈羽原子力発電所からの放射能漏れを受け、県原子力発電所周辺環境監視評価会議の橋本哲夫委員(新潟大学名誉教授)、今泉洋委員(新潟大学工学部教授)に同行をお願いし、安全協定に基づく立入調査を行いました。

**〔調査した内容〕 6号機及び7号機の放射性物質の漏えい**

- 県への報告及び公表している放射能の測定データを分析室で確認
- 6号機原子炉建屋の管理区域及び非管理区域内の現場を確認
- 7号機の主排気筒から放出された放射性ヨウ素及び粒子状放射性物質の捕集方法とその測定現場の確認
- その後の発電所での防護区域の設定など放射線の管理状況を確認

**〔評価会議委員の見解〕**

**1 6号機からの海域への放射性物質の漏えい**

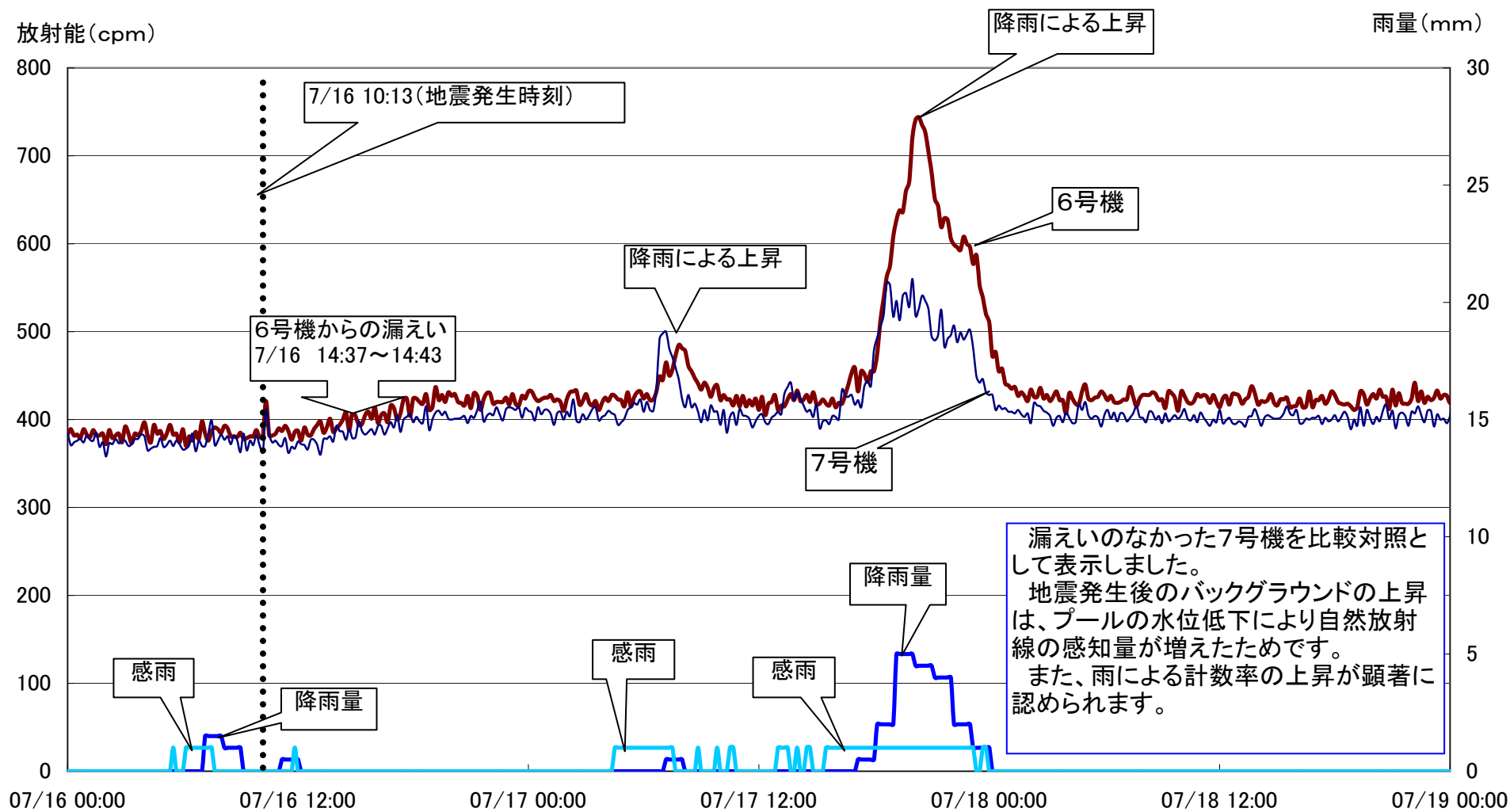
- ・放射能の海水への漏えいは、ラドン温泉9割分が海水に放出されたものに相当
- ・県が6号放水口及び前面海域5カ所で実施した放射性物質の調査では、全ての地点で発電所由来の人工放射性物質は検出されなかった。
- ・今回の立入調査で確認した観測データ及び放射線管理の方法などは妥当
- ・原因調査を的確に行なっており、今後外部に漏えいする恐れはないと考えられる。
- ・今後、県民の安心の観点から2～3回海域の水質調査を実施

**2 7号機主排気筒からの放射性物質(ヨウ素、粒子状物質)の放出**

- ・県の放射線モニタリングポスト(3局)でのヨウ素観測では、今まで検出されていない。
- ・東京電力が7月18日に原因を確定し対策を講じたことから、現在は放出されていないことを確認した。
- ・7/18までの放射性物質の総放出量は、約4億Bq(ベクレル)(=1千万分の1.3mSv)で胸部レントゲンの1回分の40万分の一、普通の人自然界から受ける放射線量(2.4mSv)の1千万分の一と極めて低い。

本県についてのお問合せ先  
原子力安全対策課 松岡課長  
(直通) 025-280-5256  
(内線) 2830

# 海水放射能モニタの推移を図示します。



海水浴場で人工放射性物質は検出されませんでした。

県では、柏崎刈羽原子力発電所から人工放射性物質の漏えいがあったことを受けて、7月24日に海水浴場の海水を採取して放射性物質を測定しました。

測定結果は別紙のとおりですが、全ての調査地点で人工放射性物質は検出されませんでした。

現在、柏崎市以外の海水浴場は、通常どおり営業を行っておりますので、水質の良い県内の海水浴場にご家族そろってお出かけください。

なお、柏崎市では、復旧作業に伴う交通規制等から車両混雑が生じているため、今週末の海水浴については、「石地海水浴場」のご利用をお勧めしています。

※ 柏崎刈羽原子力発電所周辺の9カ所の放射線は、県のホームページ・防災情報においてリアルタイムで見ることができます。

また、県内観光情報も下記アドレスで見ることができます。

県ホームページアドレス <http://www.pref.niigata.jp>

測定結果についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課 松岡課長

025-280-5256 (直通)

025-285-5511 (内線2830)

海水浴についてのお問い合わせ先

観光振興課 笠鳥課長

025-280-5252 (直通)

025-285-5511 (内線2800)

## 海水浴場の放射能測定結果について

防 災 局  
平成19年7月26日

- 1 採取日時 7月24日午前10時～午後2時
- 2 検査方法 県内11カ所の海水浴場で海水を採取し、県放射線監視センターで放射能分析装置を用いて測定しました。
- 3 測定結果

海水浴場名	人工放射性物質 (単位:Bq/l)	海水浴場名	人工放射性物質 (単位:Bq/l)
瀬波温泉(村上市)	検出されず	番神・東の輪(柏崎市)	検出されず
藤塚浜(新発田市)	検出されず	鯨波(柏崎市)	検出されず
関屋浜(新潟市)	検出されず	たにはま(上越市)	検出されず
角田浜(新潟市)	検出されず	能生(糸魚川市)	検出されず
寺泊中央(長岡市)	検出されず	城が浜(佐渡市)	検出されず
石地(柏崎市)	検出されず		

※ 検出下限値は、ヨウ素-131、コバルト-60で約0.15Bq/l

### 【調査地点】

